

## 成果の説明書

(氏名) 溝口 哲郎	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p><b>【研究活動】</b></p> <p>・レイ・フィスマン&amp;ミリアム・A・ゴールドデン『コラプション：なぜ汚職が起こるのか』（慶應義塾出版会）の翻訳チェックおよび解説、ブックフェア選書を担当した。解説「反汚職のための冴えたやり方」（同書 307 頁－317 頁）によって、腐敗・汚職の問題とその処方箋について解説した。なおこの解説およびは 2019 年度、高崎経済大学研究奨励費の研究成果によるものである。</p> <p>・本学地域科学研究所の製造業プロジェクトの一環で高崎市を本拠地とする企業を選定し、タイに進出している企業の海外進出動向について、国際学科の野崎教授とともに 2019 年 9 月にタイ・バンコクに出張し、現地調査を行った。具体的には斉藤プレス工業および群栄化学工業の現地子会社を訪問、ヒアリングおよび視察を行った。その具体的な内容は、高崎経済大学地域科学研究所ニュースレター No.13 (<a href="https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-291-2.pdf">https://www.tcue.ac.jp/files/leafpage/leafpage-291-2.pdf</a>) の「タイ訪問調査」（25 頁－28 頁）で読むことができる。</p> <p>・なお製造業プロジェクトに関して、2020 年 2 月 19 日に開催された公開研究会「地方都市における中小製造業の存立基盤に関する研究」において、報告を行った。内容は現地従業員のニーズ等についての現地アンケート等について、集計結果とその解釈を発表した。</p> <p><b>【教育活動】</b></p> <p>・2019 年度前期に開講される Introductory Economics の授業でアクティブラーニングを行うため、センゲージラーニングと交渉をし、学生の授業理解のための e-learning システム (Mindtap) の導入を行った。引き続き基礎科目「市場と経済」についても、マンキューe-learning のプラットフォームの導入について、東洋経済新報社と交渉のサポートを行った。</p> <p>・2019 年 11 月 21 日 4 限の時間帯に、リアルワールドゲームズ株式会社代表の清古貴史氏をお招きして、「位置情報活用と予防健康の今後」という演題でご講演いただいた。参加者は学生 5 名、外部 2 名の参加があった。公演内容は、生活習慣病の対策として「歩くこと」の重要性について具体的なデータを示しながら、予防医療に「ゲーム」を利用したインセンティブを導入する意義とその重要性についてご講演いただいた。</p> <p>・2018 年度に引き続き、野村証券&amp;日本経済新聞社主催の第 20 回日経ストックリーグに 2 年生 2 チーム、3 年生 1 チームが参加。また 3 年生一チームが「日銀グランプリ」に参加した。</p> <p>・2019 年 12 月 14 日に、本学藤井ゼミ、法政大学高橋ゼミとの合同インターゼミナールを行った。本学は 2 年生が参加し、日経ストックリーグの内容を利用しながら発表した。</p>	

### 【地域貢献活動】

・2019年1月24日、1月31日に行われたラジオ高崎公開講座で一般向けに「位置情報ゲームによる健康促進」「ビットにゃんたーず」経済学視点から見た歩く価値」という内容でトークを行った。

### 2 その他の事項

対外業務として、株式会社リアルワールドゲームズのアドバイザーに引き続き就任し、経済学的な知見をもとに、様々なアドバイスを行っている。対内的には人事委員会などの業務に携わった。

### 3 次年度以降の計画・抱負

教育面については以下のような抱負・計画である。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大のため、オンラインでのゼミ・授業を万全に行い、学生のメンタルサポートなどを行っていききたい。また第一期生が希望する就職先に就職できるように全力を尽くしたい。

研究については以下の通りである。

腐敗・汚職は、市場メカニズムとは異なる賄賂などの金銭的インセンティブによって、資源配分の歪みを通じて一国の経済厚生に悪影響を及ぼす。そこで今年度も継続して、過去の研究蓄積をベースに腐敗・汚職がどのような形で国家統治や制度、市場の質に影響を与えるのかを経済厚生の評価から明らかにし、腐敗・汚職防止策がどの程度経済厚生を高めるのかを分析する。特に先進国の腐敗の問題と政府の経済政策の妥当性について分析を試みる。さらに位置情報ゲームとブロックチェーン、トークンエコノミーに関する研究を執り行い、将来的には国の政策につなげられるようにしていきたい。